

■文化庁/関西元気文化圏構想趣旨書



私が文化庁長官に就任したときに「文化で日本を元気にしよう」ということを抱負として語りました。

以来一年以上、文化ボランティアや文化芸術の振興のため、日本全国を飛び回りました。

そして、多くの素晴らしい活動をしている人々に出会いました。

日本には元気で素晴らしく、底力のある方々が沢山います。

決して、経済不況で疲れてしまっている現状が、日本の全てではありません。ただ、今は政治、経済、そして文化もが東京に一極集中しすぎています。それゆえに、各地域の方々が持っている底力が、下の方に沈んでしまって見えないだけなのです。これを表に見えるようにすることができれば、きっと日本は元気になれる。それが今、私が考えていることです。そのために、まず関西から始めましょう。関西には、すでに歴史と文化の蓄積があります。皆さんの底力を発揮する為の場があります。それを使って皆さんの元気を、底力を、日本全国、さらに世界へと向けて発信していくのです。

私たちは、そのお手伝いをさせてほしいと思っています。光の当たらなかったところに光をあて、底に沈んでいるものを下からかき混ぜて新しい動きを起こしていきましょう。

文化庁や国の力で皆さんが元気になるのではなく、皆さんが既に持っている元気を、底力を、他の地域の人たちにも分けてあげられるように一緒に頑張っていきましょう。

発起人代表 元文化庁長官 河合肇雄

■開催趣旨■ World あぼろん 千年の祭り

『古事記』や『日本書記』に描かれた国生み神話のイメージは上町台地から眺めた大阪湾の風景でした。

古代の大阪は 南から北へ馬の背のような丘陵(上町台地)が突き出し 西には難波の海(大阪湾)が台地のそばまで迫っており この難波の海には『難波の八十島』と呼ばれる大小の島々が点在しておりました。

八十島とは日本の国土を意味する大八洲の古い呼び名です。

かつて難波の八十島では 八十島祭りという厳かな祭礼が行われました。それは「帝」が即位した翌年に宮中の神殿に使える女官が難波の海にやって来て「帝」の御衣を海に向かってそよがせ 国土を平安に治める為に 大八洲の国魂を取り入れるという重要な儀式だったのです。やがて都が平安京に還ってから 難波の地は王朝の「揺籃の地」として崇められ 「帝」の即位儀礼である八十島祭は永く受け継がれました。

千年の時が流れて国生み神話のパノラマが体感できる最高のロケーションは 難波の海「大阪ベイエリア」でしょう。

この絶好のロケーションで古代の大阪の由緒や文化に思いを馳せて 一人ひとりの未来に「心の豊かさ」を取り戻そうと開催するのが文化芸能祭り『大阪ベイエリア祭World あぼろん』です。

■コンセプト■ おいでやす大大阪!天下祭り

開催趣旨にちなみ文化祭り発祥の地“OSAKA ベイ”一帯のさらなる賑わいの創出を目指し、各地の伝統を受け継ぐ芸能や踊り、和楽&洋楽との和風 MIX ダンスやストリートダンス、様々なジャンルの垣根を越え創意工夫した「踊るコミュニケーション」を難波津の海から『おいでやす大大阪!天下祭り』と大阪根性!を存分に発揮して、関西から日本全体へ、そして世界へと大発信し、皆さんと一緒に“大きな大きな”「夢」を奏でたいと思います。

大阪をもっともっと盛り上げたい!!と思うのです。